

## 火踊り序曲

騒がしくて

睡い人も起きねばならぬ

目をこすり目をこすり

まだ見えない目が

見なければならぬ

あゝ

東の空が暗いのに

何處かに

あか／＼と火が焰えてゐる

火の廻りに

人が踊つてゐる

暗いのに

鶏も鳴かないのに

どん／＼と 太鼓の響き

がや／＼と 遠い喧騒

人々は 眼を覺まし

あれは火だ

あれは火だ

人は踊つてゐる

手を振つて足をもあげて

火の廻り はげしい踊り

千里の荒野を

大きく影が揺れてゐる

人は恐怖に目を覺まし

あれは火だ

あれは火だ

………火は消えぬ

擴がるばかり

鶏も聲をひそめて

火の廻り はげしい踊り

愛 情

不吉の鳥の翼ひろごりて